

「㊦意欲を持って学ぶ子」

「㊦仲良く高め合う子」

「㊦強い心と体を鍛える子」

学校だより

屏風山

びょうぶさん

令和7年10月29日

瑞浪市立 稲津小学校

稲津小学校ホームページへのリンク→



令和7年度「稲津小命の日」

校長 加藤 美香子

10月3日（金）に「稲津小命の日」を実施しました。「命の日」は、平成23年度の社会見学でのバス事故を教訓に、翌平成24年度より始まりました。年に一度、命の大切さ・命のすばらしさを振り返る日で、今年で14回目となりました。当日の様子を紹介します。

【命に関わる本の読み聞かせ】

PTA 子育て委員会主催の読み聞かせを、朝活動の時間行いました。委員さんやボランティアの皆さんが各学級で読み聞かせをしてくださいました。「命のつながり」や「戦争と命」など、「命」に係わる内容の本を選んでくださいました。真剣に読み聞かせを聞く姿がたくさん見られました。



読み聞かせの様子

【「いのちの歌」の全校合唱】

朝の会では、「いのちの歌」（作詞：Miyabi（竹内まりや） 作曲：村松崇継）を歌いました。この歌は、命がずっと繋がっていることに気づき、家族大切さや、命への感謝を歌ったものです。「生まれてきたこと 育ててもらえたこと 出会ったこと 笑ったこと そのすべてにありがとう この命にありがとう」と最後の歌詞まで、心を込めて歌いました。



全校道徳の授業の様子

【全校道徳】

1時間目は、全学級「道徳」を実施し、「生命尊重」の価値を扱う資料をもとに話し合い活動をしました。「命」・「仲間」・「人」を尊重し、大切にしたいという意見がたくさん聞かれました。

【「命」の講演会】

2・3時間目は、「命の講演会」実施しました。今年は、「能登半島地震と自衛隊の活動について～災害から命を守るために私たちができること～」というテーマで、陸上自衛隊 守山第10師団の曹長 村井洋範様を講師にお迎えして、能登半島地震直後の被災の様子と自衛隊の活動についてお話をいただきました。また、災害から自分たちの命を守るために、災害が起こる前にできること、災害が起きたときにできることを一緒に考えました。



今日は命がめっちゃ大切なことを教えてくださってありがとうございました。家で防災食やヘルメットの話をしてみます。（2年）

地震がどれだけ怖いかがわかりました。だから今日言われてことをおうちの人に話して、地震が起きたときにすぐ避難できるようにしたいです。また、お話を聞いて一人一人の命の大切さがわかりました。ありがとうございました。（4年）

被災者の方の大変さや自衛隊の人たちのすごさがわかりました。地震はいつ、どこで起こるかかわからないから、日頃から防災バッグの準備や避難場所の確認をしたいと思います。ありがとうございました。（6年）



— 今後も「命」の大切さを、伝えていきます。 —